

index

2024 (第33号)

- 医師連盟委員長挨拶
- 兵庫県医師連盟役員紹介
- 自民党兵庫県連各種友好団体との政策要望に係る意見交換会
- 第50回衆議院議員選挙結果
- 兵庫県知事選挙結果
- 議員対談 衆議院議員 中野洋昌氏
- 都市医師連盟だより(神戸市医師連盟中央支部)

兵庫県医師連盟ニュース



発行所 兵庫県医師連盟

〒651-8555 神戸市中央区磯上通6-1-11

Tel 078-265-2328

http://www.hyogo-ishirenmei.jp

編集責任者 八田 昌樹

医師連盟委員長挨拶



兵庫県医師連盟 委員長 八田 昌樹

本年は10月下旬になっても暑い日が続き、いつ衣替えをしたらよいか判断が難しいところです。

9月27日に任期満了に伴う自民党総裁選が行われ、過去最多となる9人が立候補。最後は、石破茂氏と高市早苗氏との決選投票を実施して、石破氏が新総裁として選出されました。石破氏は、自民党の改革を訴え、新たな総裁が選ばれて新政権ができたならば、早期に衆院を解散し、国民からの力強い後押しを得て、政策を推進するべきなどの判断から、解散総選挙に踏み切りました。第50回衆院総選挙は10月15日公示され、10月27日に投票が行われました。与党は215議席の獲得にとどまり、過半数を大きく割り込みました。政治とカネの問題で与党に強い逆風が吹き、野党の立憲民主党、国民民主党が大幅に議席を増やしました。自民党は公明党との連立政権において今後の政権運営に難航し、新しい政権体制を作らざるを得ない模様です。野党は躍進した議席に見

合うような政策論議を行い、国会全体として国民のための議会制民主政治を行って欲しいと思います。兵庫県選挙区では、兵庫県医師連盟推薦の候補者は12区内1区を除く11区で比例代表を含めて当選しました。

2025年7月には参議院選挙が行われます。日本医師連盟は組織内候補として日本医師連盟副委員長の釜范敏(かまやちさとし)氏を推薦することに決定しました。9月7日に決起大会が開催されました。松本委員長は、参議院選では是非トップの票を取り、国会の場で私達の考えを届けていただかなければと思っています。票を積み重ねていただけるのは、都市医師連盟の会員であり、家族であり、職員であり、そこで確実に票を取ることが大切であると述べられました。都市医師連盟の会合等

兵庫県医師連盟役員紹介

(令和6年6月16日～令和8年6月) 連盟定時委員会終了日

委員長	
八田	昌樹
副委員長(3名)	
橋本	寛
岡林	孝直
三浦	一樹
常任執行委員(9名)	
西口	郁
杉原	加壽子
坂本	泰三
大門	美智子
藤田	宏史
瓦井	博子
片山	啓久
平林	弘久
中本	博士
執行委員(17名)	
尾崎	公彦
中川	勝央
北垣	幸樹
林	伸啓
福田	能喜子
大江	与樹
杉本	貴清
久保	景久
清成	則生
田中	庸弥
寺下	一英
多田	藤倫
後	古芳
宇宿	智裕
原	秀憲
福原	恒
会計責任者	
中本	博士
会計責任者職務代行者	
平林	弘久
会計監督者(3名)	
大森	英夫
野々垣	真佐史
西山	敬吾
委員	
県医代議員・都市区医師会長	

自民党兵庫県連 各種友好団体との政策要望に係る意見交換会

への参加については今後日程を調整して進めていきます。配布したポスターの活用及びSNSを活用し、発信していくので特にLINE登録を宜しくお願い申し上げます。

令和6年9月5日(木)午後2時から県庁3号館4階の自民党県議団フロアにおいて意見交換会が開催された。兵庫県医師連盟から八田昌樹委員長、三浦副委員長、片山常任執行委員、平林常任執行委員が出席、山口晋平自民党健康福祉部会長、八田昌樹兵庫県医師連盟委員長の挨拶の後、令和7年度兵庫県予算編成に対する最重点要望事項について片山常任執行委員より説明し、実現方を強く要請した。同党からは、健康福祉部会長の山口晋平(たつの市・揖保郡)並びに副部会長の大前はるよ

最重点要望事項

带状疱疹ワクチン 公費補助について

带状疱疹は、水痘・带状疱疹ウイルスによって起こされる感染症です。このウイルスは、初めて感染したときには「水痘」を起します。ウイルスは水痘が治まった後も体内から消失することなく、脊髄神経根にとどまって体内に住み続けますが、体の免疫で抑え込まれていきます。疲労がたまったり、がんなどに罹ったり、高齢になったりして免疫の働きが弱ると、活動を始めて増殖し、带状疱疹を発症します。

まず、体の半分だけにピリピリとした強い痛みを感じ、やがてそこに水疱が帯状に広がって現れます。水疱は1週間程度続き、その間耐え難い痛みが襲われます。顔面神経に出た場合には、顔面神経麻痺や顔面神経痛が残ったり、失明したりする危険もあります。国民の90%がウイルスを保有しており、50歳を過ぎると発症の可能性が非常に高くなります。

治療には、抗ウイルス剤と鎮痛剤を使用しますが、痛みはかなり強くコントロールが難しいこと、治った後も神経痛の原因になることから、治療より予防が大切です。

予防の第1は、水痘に罹らないことです。定期接種である水痘ワクチンを1歳代で2回きちんと受けることです。

第2の予防法として、2種類の成人用ワクチンがあります。一つは水痘と同じ生ワクチン、もう一つは、遺伝子組み換えによる不活化ワクチンです。

(二面につづく)



左より 平林常任執行委員、八田委員長、三浦副委員長、片山常任執行委員



八田委員長

(二面から)
生ワクチンは1回接種で4000円〜6000円と比較的廉価ですが、免疫不全や妊娠中の人には接種できず、効果も不活化ワクチンより劣るとされています。不活化ワクチンは接種による感染がなく、予防効果も生ワクチンよりかなり優れていますが、2回接種であることと、価格が1回につき20000円〜30000円と高いことが接種促進の障害になっています。

兵庫県は、今回、带状疱疹ワクチンの接種に補助金を出す市・町に対し、1人2回、接種料の半額を、上限額20000円として補助するとしています。これを受けて県下の各市町がそれぞれ対応を始めています。

兵庫県下では、4月1日時点で29市町だった接種補助をする自治体が、7月1日からは、41市町となります。補助の対象はいずれも50歳以上の方となっています。

41市町のうち、神戸市、姫路



片山常任執行委員

市、尼崎市、西宮市を含む21の自治体が、生ワクチン、不活化ワクチン共に4000円、1回の補助金としていますが、他には生ワクチン1回40000円、不活化ワクチン2回、各1万円の補助としている自治体が12市町あり、自治体によって補助の仕方は様々です。

「生も不活化も1回40000円」という補助金は、より効果の薄い生ワクチンの接種に誘導しているかのようであり、行政の姿勢が問われるところです。

これにより生ワクチンの接種が増えると、定期接種である水痘ワクチンの供給が逼迫する恐れもあります。

全国的にも、補助金を出している市町は増えてきており、その多くが、生ワクチンで1回40000円〜50000円、不活化ワクチンで各回に1万円から150000円としています。より多くの県民が不活化ワクチンの接種を受けられるよう、補助金を増額していただくようお願いいたします。

兵庫県 知事選挙結果

開票結果 (開票率 100%)

当	1,113,911	齋藤 元彦	無前
	976,637	稲村 和美	無新
	258,388	清水 貴之	無新
	73,862	大沢 芳清	無新 =共推薦
	19,180	立花 孝志	無新
	12,721	福本 繁幸	無新
	9,114	木島 洋嗣	無新

告発文書問題で県議会が全会一致で不信任決議を可決し、齋藤前知事の失職による兵庫県知事選が11月17日投開票され、前知事の齋藤元彦氏(47)が再選した。

過去最多7人による争いで10万票以上を獲得し、前尼崎市長の稲村和美氏(52)に競り勝った。

第50回 衆議院議員選挙結果

令和6年10月27日に第50回衆議院議員選挙が行われた。
兵庫県では、12選挙区で県医師連盟が推薦した候補者12人は、比例復活も合わせ11人が当選した。

党派別当選者数

	合計	小選挙区	比例代表	復活当選者	公示前勢力	
定数	465	(女性) 289	176			
自民	191	(19)	132	59	47	256
立民	148	(30)	104	44	43	98
維新	38	(4)	23	15	15	43
公明	24	(4)	4	20	-	32
共産	8	(3)	1	7	1	10
国民	28	(6)	11	17	16	7
れいわ	9	(4)	0	9	7	3
社民	1	(0)	1	0	0	1
参政	3	(2)	0	3	1	1
みんな	0	(0)	0	0	0	0
諸派	3	(1)	1	2	-	0
与野無所属	6	(-)	6	-	-	7
	6	(0)	6	-	-	7
合計	465	(73)	289	176	130	465

※公示前勢力で議長、副議長は元の党派に戻した。

兵庫の比例代表 党派別得票数

党派	票数	比率
自民	532,662	22.53
立民	411,706	17.41
維新	446,210	18.87
公明	280,346	11.85
共産	141,554	5.98
国民	198,941	8.41
れいわ	146,780	6.20
社民	31,034	1.31
参政	96,491	4.08
保守	78,411	3.31
計	2,364,135	100.00

小選挙区推薦候補者一覧

兵庫1区	神戸市東灘区・灘区・中央区	落	盛山 正仁	自前
兵庫2区	神戸市兵庫区・北区・長田区・西宮市第2(北部)		赤羽 一嘉	公前
兵庫3区	神戸市須磨区・垂水区		関 芳弘	自前
兵庫4区	神戸市西区・西脇市・三木市・小野市・加西市・加東市・多可郡多可町		藤井 比早之	自前
兵庫5区	豊岡市・川西市第2(北部)・三田市・丹波篠山市・養父市・丹波市・朝来市・川辺郡猪名川町・美方郡香美町・新温泉町		谷 公一	自前
兵庫6区	伊丹市・宝塚市・川西市第1(南部)	比	大串 正樹	自前
兵庫7区	西宮市第1(南部)・芦屋市		山田 賢司	自前
兵庫8区	尼崎市		中野 ひろまさ	公前
兵庫9区	明石市・洲本市・南あわじ市・淡路市		西村 康稔	無前
兵庫10区	加古川市・高砂市・加古郡稲美町・播磨町		渡海 紀三朗	自前
兵庫11区	姫路市第1(北部)・第2(南部)		松本 剛明	自前
兵庫12区	姫路市(旧家島・夢前・香寺・安富町)・相生市・たつの市・赤穂市・宍粟市・神崎郡神河町・市川町・福崎町・播磨郡太子町・赤穂郡上郡町・佐用郡佐用町		山口 壯	自前

■ 選挙区 □ 市区町名 ■ 候補者氏名 ■ 所属政党
■ 前・新・元 別

比例代表の小選挙区別得票数

選挙区	自民	維新	立民	公明	国民	れいわ	共産	参政	保守	社民	計
1区	41,875	37,973	41,876	17,221	22,566	12,945	14,863	10,024	8,475	2,550	210,368
2区	35,311	35,601	31,442	29,108	15,213	11,704	14,070	8,582	6,386	2,323	189,740
3区	33,089	29,363	26,742	18,429	18,884	9,609	11,489	5,672	5,725	2,251	161,253
4区	53,786	36,626	41,827	24,265	15,869	12,934	11,339	7,299	6,854	2,770	213,569
5区	61,436	37,617	41,666	21,594	13,345	11,269	9,914	6,497	5,881	2,755	211,974
6区	49,763	48,239	48,030	22,985	20,329	14,270	13,270	10,532	8,493	3,497	239,408
7区	51,186	53,558	45,773	19,663	24,345	14,450	14,945	10,788	9,687	3,508	247,903
8区	31,080	40,945	20,991	33,957	15,900	14,615	15,810	8,023	6,371	2,507	190,199
9区	47,403	31,324	37,069	24,499	15,866	12,922	10,328	6,491	5,871	2,533	194,306
10区	38,960	28,108	30,674	23,759	12,836	11,031	8,551	8,858	4,806	2,170	169,753
11区	45,886	37,555	24,564	24,427	14,995	12,009	9,420	8,947	6,090	2,149	186,042
12区	42,887	29,301	21,047	20,439	8,787	9,022	7,555	4,778	3,772	2,021	149,609
計	532,662	446,210	411,706	280,346	198,941	146,780	141,554	96,491	78,411	31,034	2,364,135
比率	(22.53)	(18.87)	(17.41)	(11.85)	(8.41)	(6.20)	(5.98)	(4.08)	(3.31)	(1.31)	(100.00)

選挙最終



兵庫県医師連盟
プロジェクト委員

杉安 保宣

議員対談

衆議院議員 (兵庫第8区)

中野 洋昌

HIROMASA NAKANO YASUNORI SUGIYASU

杉安 本日は私と中野洋昌衆議院議員との対談のごとで、よろしくお願ひします。また、本日(令和6年10月2日)は衆議院選挙まで約1ヶ月とお忙しいにも関わらず、時間をお取り頂き大変恐縮です。

中野 今日は本当に時間がありませんので、気になさらないで下さい。ただ、急なことでしたので戸惑いはありましたが、決まってしまうものは仕方ありません。衆議院は常在戦場です。

杉安 有難うございます。さて、私は中野さんの後援会会長をさせて頂いていきますので、2012年に初当選されてから12年もお付き合いになります。この間色々とお世話になったのですが、尼崎市医師会が主催する尼崎市民医療フォーラムに9

回(第8回/第16回)参加頂きフォーラムを盛り上げて頂きました。本当に有難うございました。

中野 一般の方々や医療政策について語り合う場合はほとんどなく、尼崎市民医療フォーラムは大変貴重な機会でした。また、かかりつけ医はもちろん、地域医療構想やターミナルケア(自分などの様に最後まで医療を受けるか)だったり、かなり踏み込んだテーマで一般の方々だけではなく学識経験者の方達とも話し合えたので、大変勉強にもなりました。

杉安 その様に感じて頂いたのであれば、大変嬉しいですね。ただ、残念なことに昨年と同様のフォーラムはやめて、違う形の会をしようかと考えています。やはり、医療政策がテーマでは

聴衆がなかなか集まらず、コストパフォーマンスも考慮した結果です。

中野 違う形の会でも、喜んで参加させて頂きますよ。

杉安 有難うございます。また、よろしくお願ひします。

杉安 中野さんは衆議院4期の間は政務官をはじめ様々な役職に就かれ、今は公明党の経済産業部会長をお務めですが、どのような活動をされていますか。

中野 党の経済産業部会長としては、物価高対策として電気代・ガス代・ガソリン代の補助を働き掛けました。

また、最近では政治資金の問題で与党の実務者協議の代表を務め、罰則強化を実現しました。

杉安 テレビの討論会でお見かけしましたので、政治資金規制に係わられていたのは知っていましたが、大変そうでしたね。

中野 大変でした。

また、「子育て応援トータルプラン」という党のビジョンを作る事務局長を務め、少子化対策として児童手当の拡充や妊娠・出産時の交付金を創設しました。

杉安 物価高対策は医業経営にも直結しますので、更にお願ひしたいです。少子化対策は医療政策とも結びつくかと思えます。効果があれば嬉しいのですが。

中野 そうですね。少子化対策は大変難しいです。子育て応援

トータルプランは結婚・妊娠・出産から育児・子育て・修学まで持続して子育てを支援することにより、少子化対策を目指します。そして、出産・子育てのための費用が必要かと考え、出産育児一時金を50万円に引き上げるとともに、妊娠・出産時に10万円相当の給付を用意した次第です。

杉安 有難うございます。

では、最近の医療政策について伺いたのですが、まずは「かかりつけ医」についてです。

中野 2024年にかけて在宅患者さんは増え続けますが、労働力(人材)の不足により十分な対応ができませんと考えられています。その限られた人員で効率よく、地域で患者さんを診ていくための手段の一つとして考案されたのが「かかりつけ医」だと思っています。

杉安 経過を見ますと、「かかりつけ医」に係る加算をつけ、多くを「かかりつけ医」に誘導し、かかりつけ医を制度化しようとしているのではないかと勘繰ってしまつのですが、如何でしょうか。

中野 「かかりつけ医」をゲートキーパーにして、医療のフリーアクセスを阻害する方向に持っていくかという話ですね。先程申した様に、医療提供の効率化に寄与するのが「かかりつけ医」の機能だと思いが、フリーアクセスの阻害は日本の医療の実態に沿わないと考えられています。

杉安 では、医療に制限をかける為の「かかりつけ医」の制度化は難しいとのことでしょうか。

中野 はい。私はそう考えています。

杉安 有難うございます。とりあえず、安心しました。

次に「医師の偏在」についてですが、所謂医局制度を壊したから起きた問題だと考えます。今のような状況は予測できたとおもうのですが、一切対策を考えていなかったのでしょうか。

中野 医局制度がなくなった時期に関わりありませんので、なんとも言えませんが、医師の偏在が招く医療過疎は大きな問題です。遠隔地の医療としては、ドクターヘリや未来的には遠隔医療での対応が出来るかもしれませんが、やはり、医療の拠点を必要です。その拠点は医師が不可欠です。そこで「医師の偏在」問題が発生します。今のところ、都道府県を中心に対策を講じ、国が様々な形でサポートしていく感じになるかと思えますが、もっと取り組みを強化していく必要があるかと思えます。

大学があるので、単純に都道府県ごとの大学で考えるのは難しいかもしれませんが、最近では私立大学医学部で地域枠(卒業後は決められた地域で医療に従事することが条件)が設けられており、様々な検討が試みられると思えます。

中野 「医師の偏在」は大きな問題ですが、何より医療に従事する人材不足が根底にあるかと思えます。実際、介護職は海外にまで人材を求めつつある状況です。しかし、医師については一定の供給が見込まれますので、まずは「医師の偏在」の解消は可能ではないかと考えています。

杉安 また、地方に医師を誘導するため、都市部の点数を下げるといった案が挙げられているようですが、如何でしょうか。都市部は固定費や税金が地方より高く、既に都市部の点数は低く見積られるのが現状かと思えます。

中野 確かに、いろいろな要素を考慮すると、地域別で点数を変えるのは課題が多そうですね。「医師の偏在」の解消は大変難しく、これからの大きな課題と考えます。

杉安 善処をよろしくお願ひします。

最後にこれからの医療また医療政策のあり

方について伺いたいと思えます。

中野 少子高齢化が進み、人口だけでなく生産人口も減少していく中で、2024年までは入院患者さんや在宅患者さんが増加し医療だけでなく介護のニーズは増える予測されています。「医師の偏在」だけでなく、医療介護に従事する人材の不足も問題となります。よって、いかに効率よく医療・介護を提供するかが問われています。そして、医療・介護の提供の効率化には医療のDX化を、もちろんマイナンバーカードの導入も含め、進める政策をとるべきかと考えます。

杉安 なるほど。やはり、医療のDX化は喫緊の課題ということですね。

まだまだ聞きたい事はあるのですが、大変忙しい時期です。選挙が終わりましたら、改めて伺いたいと思います。

本日は忙しい中、お時間を頂き、大変有難うございました。



杉安プロジェクト委員・中野洋昌議員

都市医師連盟だより

【神戸市医師連盟中央支部】

中央支部は前々会長の頃より、年末の総会に議員団を招待しない事が続いており、医師連盟活動はそれほど活発ではありませんでした。また、今回の衆議院解散までの1年ほど選挙がなかったため連盟活動は休止状態でした。

さて、10月8日に衆議院が解散され、10月15日公示、10月27日投票となりました。中央支部では10月11日の理事会で前文部科学大臣の盛山正仁氏を推薦することを決定しました。また、政策協定についても内容を吟味し、かかりつけ医機能を中心に必要な医療を確保すること、国民皆保険制度を堅持すること、平時のみならず、新興感染症発生時等の有事にも国民の生命と



医師連盟の会議風景



医師連盟の会議風景

健康を守ることに、医療DX推進においては、効率化のみを追求せず、皆が適応される環境を確保することを承認しました。前回の2021年10月31日の選挙では立憲民主党のいさか信彦氏に78657票VS64202票と2万票余りの差で敗れ、比例区で復活当選をした苦い過去があります。今回も自民党のパーティー券問題や統一教会との関係性を疑われ、厳しい状況におかれています。自民党非公認のある議員がキックバックされた金は私用には一切使っていない事を強調し正当性を主張していましたが、脱税を棚に上げての詭



左から 小川 中央支部長、盛山氏のご夫人、置塩 元神戸市医師連盟委員長

神戸市医師連盟中央支部長 小川 達司

弁にはうんざりしました。また、10月19日に元神戸市医師連盟委員長の置塩隆先生と盛山氏の選挙事務所へ陣中見舞いに行きました。部屋には推薦人の用紙が一面に貼られており、灘高の同級生の久元神戸市長のものも特別、目を引きました。その日は前首相の岸田氏が来神し、六甲道駅で応援演説を行う予定で、当人を含め支援者の大半が出払っていました。たまたま、ご夫人が事務所で留守番をしており、ご挨拶の後、一緒に写真を撮っていただきました。ざっくりと話をしたら、緊張がほぐれました。この原稿は10月23日に投稿したもので、選挙結果は不明ですが、盛山氏にはなんとか当選を願うばかりです。

伝える。届ける。

優れた医療・介護をすべての人へ、次世代へ。

かまやち さとし わたしの思い

「未来に」伝える。届ける。

国民皆保険制度による日本の優れた医療・介護体制を堅持します。小児科医の経験を活かし、子どもたちの笑顔を作ります。すべての人に明るい未来を目指します。

「地域に」伝える。届ける。

医療・介護の従事者を確保し地域医療を充実させます。高齢化率の高い地域でも患者さんを支えます。災害に強い街づくりを推進します。

「国民に」伝える。届ける。

感染症等の有事にも、平時の医療体制を提供します。予防できる病気を防ぐため、希望する人へのワクチン接種を推進します。すべての人が健やかに過ごせるよう、健康増進に努めます。

「行政に」伝える。届ける。

地域保健・公衆衛生活動を充実させます。日本医師会が目指すかかりつけ医機能を推進します。地域の実情に応じた医療現場の声を行政に伝えます。

かまやち さとし

公式 HP・SNS

日本医師連盟 HP

【公式 HP】

<https://www.dr-kamayachi.jp>



LINE 公式アカウント

【ご招待 QR コード】



日本医師連盟

facebook

<https://www.facebook.com/profile.php?id=61565554526871>



YouTube

<https://x.gd/jmakama>



日本医師会 副会長

かまやち さとし 釜薙 敏

プロフィール

医師/医学博士/日本小児科学会/

日本小児科医会/日本小児神経学会 会員

趣味：阿波踊り（上州高崎ですけ連 2001 年より）

茶道

1953年 7月5日 群馬県高崎市生まれ 巳年、かに座

1972年 東京教育大学附属 駒場高校（教駒）

現) 筑波大学附属駒場高校 卒業

1978年 日本医科大学医学部卒業

1978年 日本医科大学付属第一病院 小児科 入局

1988年 小泉小児科医院 院長

2005年 高崎市医師会 会長

2011年 群馬県医師会 参与

2014年 日本医師会 常任理事

2020年 新型コロナウイルス感染症対策専門家会議構成員

新型コロナウイルスアドバイザーボード構成員

2023年 新型インフルエンザ等対策推進会議委員

2024年 日本医師会 副会長